



# 全肢連情報



皆様からニュースのご提供を  
心からお待ちしております

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11

福祉財団ビル5階

全肢連公式ホームページでも全肢連情報をご覧になれます

<https://www.zenshiren.or.jp>

TEL : 03-3971-3666

FAX : 03-3971-6079

MAIL : zenshiren@zenshiren.or.jp

全肢連

検索



## 令和6年能登半島地震発生から半年～

◎石川県肢連から

令和6年能登半島地震から半年が過ぎました。被災した会員家族は、各々の復興への強い気持ちを胸に、また子どもたちの将来の為に一生懸命頑張っています。窮屈な避難生活やなかなか進まない復旧事業、諦めて地域から離れていく地域の人たちを送り、心が折れそうになることもあるかと思いますが、全国の父母の会の皆様からのご厚意には本当に勇気をもらっています。

被災したご家族から会に宛てた手紙が届いていますので一部紹介します。

石川県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 松田郁夫



静かなお正月に突然の揺れ、これは大きな地震と思った瞬間、自分で移動が困難な息子を抱き、こたつに押し込み、いつもより長い揺れがおさまるのを待ちました。一旦収まったかと思ったらさらに大きな揺れ。台所で食器が次々と割れる音、冷蔵庫が開き食品が落ち、お父さんがTVを押さえ、90歳の母がいない。お母さん・・・？目の前に仏壇が倒れてきて驚き、転んだらしいが大丈夫の返事。

ホッとして早く家から出ようと思い戸を開けると廊下から玄関までの間、電灯

が粉々に落ち、花鉢が割れ、地獄かと目を疑う光景でした。すぐに外へ出る道を作り、息子を布団に寄せ引っ張り出してやっとの思いで車に乗せました。近所の人達が皆さん出てきて、どうする？どうなった？と口々に話しましたが、家のすぐ側の橋が隆起し車ではどこへも行けないと知り、歩いて避難所へ向かった人、もう避難所もいっぱいに入れないと帰ってくる人、小学校が駄目なら中学へ高校へと向かう人、決めかねて悩むうちにだんだんと暗くなり、寒い中、免疫力のない息子をコロナやインフルエンザから守るため、避難所へ行くのは諦め車中泊することに。

薬も明日までの分しか無く早く入所先に連れて行こうと思いましたが、一晚車中泊した車にガソリンは残り少なく、半分くらいガソリンが残っていた別の車で金沢へ向かうことを決断しました。隆起した道、潰れた家、倒れた電柱、ひび割れた道に埋まった車を横目で見ながら、穴水の手前でこれ以上進めないとわれ、能登空港まで引き返し、トイレのある駐車場で車中泊。空港で色んな人に声をかけ情報を集め、どの道をどう走るか尋ねて、明け方に思い切って金沢へ向かい、やっと見つけたガソリンスタンドは大行列、羽咋の近くでやっと2,000円分だけ入れてくれるところを見つけて無事に金沢の家につきました。たった3日間の出来事なのに身体の不自由な息子と90歳の母を連れてのとても長い道のりだったように思います。息子の入所先に近い金沢に家があったことも幸いでした。珠洲に残った友だち、水が出ないことに我慢できず子どもの家にお世話になっている親戚のおじさんやおばさん、まだ避難所で不自由な生活をしている人たち、早く元の生活に戻れるよう願うばかりですが、願っても思いが届かず、宝立町の友だちが津波で亡くなり、蛸島の親戚のおじさんが、若山の友だち夫婦が家屋の下敷きになり亡くなりました。どこを見ても悲惨な状況で私たち家族が生きているのも奇跡だと思えて仕方ありません。県の父母の会から、全国の父母の会の皆様から寄せられた多額の義援金や支援物資を頂き、本当にありがとうございました。母が毎日のように早く珠洲へ帰りたいたうので、珠洲の水道が復旧したら、生活の立て直しに使わせて頂きたいと思っています。本当にありがとうございました。

珠洲市 T・M



このたびは全国の父母の会の皆様より義援金や支援物資が寄せられ、お見舞い金や温かい励ましのお言葉、様々なご支援いただき心から感謝しております。

家族4人（本人、母、祖母、叔父）で穏やかな元日を迎えていました。涼太は車が大好きで毎日のドライブが日課でした。15時50分頃に家族揃って車に乗り出発する

と、直後の16時過ぎに揺れがあり、駐車スペースを探して停車した瞬間に激震。車が横転しそうな状況で必死にシートにつかまりました。涼太に「大丈夫?!」というのが精一杯。多くの家が崩れ、電柱は傾き、電線は切れ、長い長い地震でした。すぐに家に戻ろうとしましたが、道路は大きな岩で寸断されました。少しのドライブのつもりだったので車いすや飲み水など何もなく、携帯電話も通じません。まさに孤立です。

夜更けになると近くの公民館に避難できると声掛けがあり、玄関で「力持ちが来たぞー」と男性3人で涼太を担いで中に運んでくれました。簡易トイレはありましたが、涼太は濡れた廊下をハイハイで移動するのは大変で、廊下の隅でビニール袋に用を足しました。毛布で涼太を抱えて余震と寒さで眠れぬ一夜でした。翌朝、崩れた道を何とか通り、辿りついた家は全壊。予想はしていましたが頭が真っ白になりました。前日から涼太の抗てんかん薬も服用できずにいたので、まずは病院へ行き何とか数日分の薬をもらいました。避難所へ行くと人であふれ、通路も狭く、涼太を支えて移動できる空間はありません。福祉避難所もすでに一杯とのことで、車中泊を考え



ていると、自らも被災された知人が「部屋はあるから家族で来て」と声をかけていただきました。暖かい食事と布団で安心したのもつかの間、3日後には土砂災害警報で全員緊急避難。やむなく近くの避難所へ行きました。涼太は数日の避難生活で足の筋力が弱り、私もリウマチを発症しているように避難所のトイレ介助が出来ず、相談員さんに現状を伝えたところ、穴水のグループホームに空室があるので、トイレも近い利用してくださいとのお返事。普段は30分の道のりを5時間かけて辿り着きました。着の身着のままでしたがとても安心しました。

ところがその夜、叔父、祖母が相次いでコロナ陽性となり別室隔離。体調不良の家族と涼太の介助でパニックになりそうでしたが、職員の皆さんが、食事の世話やDMATの派遣などですぐに対応してくれて心強かったです。父母の会会員仲間のSさんも、金沢から私たちの下着を買って届けてくださいました。金沢に避難できたのは1月中旬、新年初めての入浴日となりました。車いすも穴水町、輪島市、石川県の連携で新調できました。息子は県の父母の会にご手配頂き、金沢市内の施設に入所しています。日常が一変した日々ですが、涼太の心の成長と皆さんのご支援のお陰で無事に過ごしていますが、以前の歩行器ではなく車いす生活中心となり、筋力低下が心配です。

発災直後はトイレ、食事の支援が第一ですが、障害のある人には個別のサポートが必要だと感じました。支援があっても、涼太を連れて入浴や給水には行けません。が、何より心強かったのは人々の思いやりでした。ついつい我慢しがちな被災者ですが「HELP!」と声を出すのも大切だと実感しました。私自身も周囲の方の「HELP!」に耳を傾け、力になりたいと思います。元日のあの時「ドライブに行きたい」という涼太の言葉で助かった命を大切にして、平穏な日常に戻るまで少しずつ前に進んでいきたいと思っています。

輪島市 K・M

元日、娘がテーブルに捉まって立っていると地震が起き、慌てて抱えてテーブルの下に入れました。次の地震は経験したことがない激しい揺れで、娘に「足をまげて、小さくなって」と叫びましたが、恐怖で足をピンと伸ばしたまま無言で固まっていました。娘の体に覆い被さり長い揺れが収まるのを待ちました。三度目の揺れの後、主人が、家の裏から倒れたガスボンベや割れたガラス戸などをよけて車を出してきました。部屋には、体の不自由な娘の為、もしもの時に外へ出るための掃き出し窓があり父親が外から娘の両足首を持ち、私が後ろから脇の下に手を入れて持ち上げてやっと外に出ることができました。

家の右側の道はアスファルトが割れて1メートルも段差ができて通れませんでした。左側も割れていましたが、父親が通れるところを探しながらゆっくりと進みました。途中、家が壊れて道をふさいでいたり、橋と道の間に段差ができ通れず、迂回しながら、普段



は10分ほどの道を1時間かけて避難所にたどり着きました。気が付くと近くの朝市通りの付近で火災が起きました。



市の職員は、現場には高齢者が多く暗闇で余震の続く中、安全な避難方法を探していたようです。車いすの人は早めに避難するように伝えてもらいました。他の会員4人の安否確認ができ、避難所までは火は来ませんでした。大火災になり多くの方が、亡く

なり行方不明になっていることを知りました。建物の下で救助を待っている方もいると聞き、いたたまれない気持ちになりました。水道も使えずトイレに移動するのも大変でしたが、「車いす、通してあげて」と声をかけてくださる方もいて、とてもありがたかったです。

娘はトイレに入ってから時間がかかり、私は少し戸を開けて、「すみません、少し時間がかかります。」と謝りました。皆さん、「大丈夫や。」と仰ってくださいますが待ってもらうのが辛く、娘に「一旦、出ようか」と言うと「今、したい」と小さな声で泣きました。

避難している方に申し訳なく、家も壊れて帰れず、本人も辛そうなので、ここから離れた方が良く判断し、安否確認や励ましの連絡をいただいていた県の肢体不自由児者父母の会に、子どもを金沢こども医療福祉センターに避難させたいとお願いしました。7日に受け入れてもらえることになり本当に助かりました。避難所は6日に床の消毒をして、土足や車いすの乗り入れ禁止になり不便でしたが、衛生上大切なことだと思いました。体が自由に動く人でさえ大変な折、不自由な人はとても大変です。私と娘だけでは家から出られなかったと思います。どうすれば良かったのか、今考えてもわかりません。

地震の後、避難所からネットカフェやビジネスホテル、スーパー銭湯などを転々としましたが、今はみなし仮設住宅で金沢市近郊に住み、週末には娘と過ごすこともできています。全国の父母の会の皆様、石川県肢連の皆様には、見舞金や多くの支援物資、辛いときに掛けていただいた激励や心配のLINEやメールは本当に有難く、勇気をもらいました。

まだまだ先は見通せませんが娘の為にも頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

輪島市 S・K

◎新潟県肢連から

この度の能登半島地震に際しましては、お見舞いのお電話、被災した会員のために心温まる義援金を賜り大変ありがたく心から厚く御礼申し上げます。被災された会員より令状が届きましたので送付いたします。

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会 会長 坂田 真弓

## 肢体不自由児者父母の会様

この度、能登半島地震での災害で、会より義援金頂き誠にありがとうございました。

当日、私は、正月の年始参りを終え、車に乗ってエンジンをかけた所で、地震の揺れを感じ長く感じたのですが、ラジオで聞くと石川県能登沖との事で、新潟県でなければ大丈夫だろうと思っただけで帰宅しました。ところが、母屋の瓦が落下、他の棟の瓦を巻き添えに物干し場のガラスは割れ、天井のアクリル板は握りこぶしの瓦で割れていました。

家の中は、壁にヒビが入ったり一部落下したりでした。

元旦、早冬片づけに追われました。

中学生の孫が、すごい音だったよ!! ばあちゃん大丈夫だったマ、と気付かせてくれました。

他にも大変な被害が多くあま中私達家族にまで義援金を出して下さり、本当に有り難くお礼申し上げます。

高橋千恵子

麗子

二次支援がまだまだ必要です。全肢連では、引き続き義援金を募っております。皆様からのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

## 第61回関東甲信越肢体不自由児者父母の会茨城大会

令和6年6月29日(土)、茨城県水戸市のホテルレイクビュー水戸 飛天の間にて、ご来賓の方がをはじめとする関係者及び多くの会員の出席のもと、開催されました。

障害児者が住み慣れた地域において安心して当たり前暮らしを「共生社会」を実現するために、関係者が集まり、福祉に関する社会啓発とともに、障害児者の権利擁護や自立・社会参加の意欲を高める活動支援、さらに地域での医療福祉などでの関係機関との連携構築をともに考える契機とするために、「住み慣れた地域で共生社会の実現～重度の障害があっても地域で安心して一生暮らせる社会へ～」をテーマに掲げました。

基調講演では、「共生社会に向けた地域での相談支援体制」について、筑波大学教授の小澤温氏にご講演いただきました。引き続き行われましたパネルディスカッションでは、「親なき後の本人は



どう暮らすのか？」をテーマに、コーディネーターに西宮市社協副理事長の清水明彦氏、コメントーターに小澤温氏、パネラーにNPOサラダボール理事長、つくば自立生活センターほにゃら事務局長の齋藤新吾氏、地域父母の会の尾坐原由香氏に登壇いただき行われました。



茨城県肢連 御代川会長



全肢連 清水会長

## 第4回あーと展2024の応募作品の受付が始まりました

締め切りは10月18日です。たくさんのご応募お待ちしております。

**第4回** **作品募集**

# あーと展覧会2024

2023年度入賞作品

**対象** 障害のある方(年齢・障害種別は問いません)

**作品** 絵画・書道・写真・イラスト・コンピュータアート・木工・縫製・染色・陶芸 など

**締切** 2024年10月18日(金)

**審査** 審査委員会にて入賞作品を選定し、11月末頃に全肢連のホームページで発表(予定)

**応募** ホームページの応募フォームもしくはメールにてご応募ください  
※詳細は全肢連ホームページ、または学校・施設等にお取りしらせを御確認ください。

**問合せ先** 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階  
TEL: 03-3971-3666 FAX: 03-3971-6079  
Mail: art-zenshiren@zenshiren.or.jp  
URL: https://www.zenshiren.or.jp

**応募要項**

**【目的】** 自分の作品を見てもらう喜びや、一つの作品を完成させることで味わう達成感、生涯学習としての楽しみを見つけるきっかけ作りと、隠れた才能の発掘など

**【主催】** 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会(全肢連)

**【協賛】** コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社  
株式会社協和

**【対象】** 障害のある方(年齢・障害種別は問いません)

**【作品】** 絵画、書道、写真、イラスト、コンピュータアート、木工、縫製、染色、陶芸 など  
・応募は一人2点以内  
・未発表(所属先等での内部発表会は除く)のオリジナル作品  
・横図やデザイン等を模写した場合は、原作者の了解を得てから応募してください  
・グループ作品も可

**【締切】** 2024年10月18日(金)

**【展示】** 全肢連ホームページ上に全作品を展示(WEB 展覧会)  
・期間2025年1月～12月末(予定)

**【審査】** 審査委員会にて入賞作品を選定

**【表彰】** 2024年11月末に全肢連ホームページで入賞作品を発表(予定)  
・入賞者には、賞状、メダルを贈呈  
・入賞作品は全肢連(福祉自動販売機)に掲示(予定)  
・入賞作品を用いた2025年度カレンダーを制作し、関係先に配布

**【注意】** 応募作品の著作権は応募者(制作者)に帰属しますが、主催者は応募作品のWEB 展示、審査結果発表および広報のため等に無償で様々なツールへの掲載、展示及び複写する権利を有します。

**応募について**

**【応募方法】**  
ホームページの応募フォームもしくはメールにて応募ください  
・現物は送付不可  
・写真撮影やスキャンするなどしてデータを送付  
・ファイル形式はPDFまたはJPG(データ容量は1MB以上を推奨)  
・USBメモリ等のメディアに記録して郵送も可(メディアの返却はいたしません)

**【WEB】** <https://www.zenshiren.or.jp/>  
**【e-mail】** [art-zenshiren@zenshiren.or.jp](mailto:art-zenshiren@zenshiren.or.jp)

**※応募にあたってのお願い※** 下記①～⑦を作品に添えて応募ください

- ①作品タイトル
- ②応募者名
- ③障害名(作品審査の参考にします(公表はいたしません))
- ④生年月日、年齢(令和6年10月18日現在)
- ⑤コメント 100字以内で作品制作にあたり工夫した点、制作期間などを本人又は支援者の方が記入してください。
- ⑥所属 父母の会、学校・事業所名等を記入ください(学校の場合は学年も記入してください)
- ⑦連絡先 ・郵便番号、住所  
・電話番号  
・メールアドレス ※連絡先が所属の場合は、必ず「担当名」も記入ください

**【問合せ先】**  
一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会 あーと展覧会2024運営事務局  
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル 5階  
TEL: 03-3971-3666 FAX: 03-3971-6079

# 熱中症予防強化キャンペーン

気候変動の影響により、国内の熱中症による死亡者数は増加傾向が続いており、また、今後、地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれ、我が国において熱中症による被害が更に増加するおそれがあります。

こうした状況を踏まえて、熱中症対策を一層強化するための気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律が令和5年4月に成立し、令和6年4月に全面施行されました。

今年の夏は全国的に気温が高いと予想されております。政府としては、改正気候変動適応法に基づく熱中症警戒情報、熱中症特別警戒情報の着実な運用、指定暑熱避難施設を活用した取組の促進等を図るとともに、「熱中症対策実行計画」（令和5年5月閣議決定）に基づき、令和6年度「熱中症予防強化キャンペーン」を通じて、政府一体となった普及啓発を実施しています。

今夏の熱中症予防強化キャンペーン 令和6年4～9月の実施予定表						
訴求対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月
◆ 熱中症対策実行計画に基づき、関係府省庁の連携の下「熱中症予防強化キャンペーン」を4月～9月の期間で実施。 ◆ 政府一体となった国民への発信強化、産業界との連携、熱中症警戒アラート等を活用した熱中症予防行動の周知浸透を図る。						
国民全体	熱中症予防強化キャンペーンポスターの掲載（各府省の庁舎やweb等）、 予防行動をまとめたリーフレット配布、SNS等から熱中症予防行動を発信、地方公共団体や産業界からも発信 【内閣官房、内閣府、こども家庭庁、消防庁、文部科学省、スポーツ庁、厚生労働省、 農林水産省、経済産業省、国土交通省、観光庁、気象庁、環境省】					
	熱中症警戒アラート（気象庁との共同発表）・熱中症特別警戒アラートの運用、暑さ指数の情報提供【環境省】					
	エアコンの早期 試運転について 業界団体から呼 びかけ 【事業者等】	熱中症による救急搬送人員の公表【消防庁】				
	熱中症による死傷労 働災害件数を公表 【厚生労働省】		"節電にも配慮したエアコンの適切な使用"の普及啓発【経済産業省・環境省】			
	熱中症予防の普及啓 発・注意喚起につ いて事務連絡 【厚生労働省・環境省】		大型ビジョンによる熱中症警戒アラート・暑さ指数・予防対策の発信【環境省】		新国民運動・官民連携協議会を通じた熱中症予防行動等を展開【環境省】	
	"エアコンの早期点 検・使い方"につ いて普及啓発【経済産業、環 境省・事業者等】		梅雨明け・熱中症注意の普及啓発【関係府省庁】		盛夏・熱中症最大注意の普及啓発【関係府省庁】	
			各地の気象台が実施する「お天気フェア」での普及啓発【気象庁】		[水の週間]関連行事として打ち水の実施 等による普及啓発【国土交通省】	
			天候等踏まえ適宜実施：“災害時の熱中症対策” 【内閣府、消防庁、厚生労働省、環境省】			
			熱中症予防の普及啓 発・注意喚起につ いて事務連絡（第1弾） 【厚生労働省・環境省】		高齢者福祉等の関係 団体への見守り、声 かけ依頼【内閣官房、 厚生労働省、環境省】	
			熱中症予防の普及啓 発・注意喚起につ いて事務連絡（第2弾） 【厚生労働省・環境省】		高齢者向けのコンテンツをSNS等を活用し発信【環境省】	
高齢者等 ・ 関係団体	地域における熱中症対策の先進的な取組事例集等の一層の周知【環境省】					
地方公共 団体等	地方公共団体や熱中症対策普及団体等を 対象にした研修の実施【環境省】					
	熱中症特別警戒 アラート発表時 の伝達訓練 【環境省】	熱中症対策・体制強化の依頼発出【関係府省庁】		都道府県に熱中症予防 の普及啓発/注意喚起の 事務連絡発出 【こども家庭庁・ 厚生労働省・環境省】		
	都道府県に熱中症予防 の普及啓発/注意喚起の 事務連絡発出 【こども家庭庁・ 厚生労働省・環境省】		都道府県に熱中症予防 の普及啓発/注意喚起の 事務連絡発出 【こども家庭庁・ 厚生労働省・環境省】			
学校・ スポーツ の管理 者等	教育委員会等に 熱中症事故の防 止等について 通知 【文部科学省】		啓発動画の周知 【スポーツ庁】		都道府県・政令指定都市教育委員会学校体 育主管課の指導主事（小学校・中学校）連 絡協議会において注意喚起 【スポーツ庁】	
	熱中症事故防止につ いて事務連絡 【スポーツ庁】		熱中症事故防止につ いて事務連絡 【スポーツ庁】		熱中症事故防止につ いて事務連絡 【スポーツ庁】	
	担当者会議における注意喚起、 熱中症事故防止に関する研修等の実施要請 【文部科学省】		熱中症事故防止につ いて事務連絡 【スポーツ庁】		事故発生状況等を踏まえた継続的な情報提供・注意喚起 【文部科学省、スポーツ庁】	
	訪日外国人のための 救急車利用ガイド 【消防庁】		熱中症事故防止につ いて事務連絡 【スポーツ庁】		熱中症事故防止につ いて事務連絡 【スポーツ庁】	
労働者 ・ 農業 従事者	STOP!熱中症 クールワーク キャンペーン準備期間 【厚生労働省】					
	STOP!熱中症 クールワークキャンペーン【厚生労働省】					
	MAFFアプリやSNS等を活用した情報発信【農林水産省】					
熱中症予防等の 啓発資料の作成 【農林水産省】		熱中症対策研修実施強化期間 （都道府県、市町村等による熱中症対策研修の実施推進） 【農林水産省】				
熱中症対策ステッカーの 作成・送付 【農林水産省】		熱中症予防等に関す るオンライン研修 【農林水産省】				



## 令和6年度JKA助成事業 地域指導者育成セミナーはじまる

今回のセミナー開催にあたり全肢連会員・重症児（者）を守る会・肢体不自由特別支援学校に、下記の内容に関して地域の実情についてアンケート調査を実施しました。

1. 障害福祉サービスの介護給付「訪問活動・日中活動」の地域実態について
2. 補装具等に係る車いすと座位保持装置の選定と支給状況について
3. 災害時個別避難計画の作成と避難先の確保と訓練について

3か所で開催されたセミナーでは、障害児者と家族は自然災害発生時にどう対処すべきか、その在り方について、日本防災士会より講師をお願いし、講演いただきました。その後「災害時個別支援計画、障害福祉サービスの給付状況、車いすと座位保持装置」について、アンケート調査の概要を説明し、意見交換(ワークショップ)を行いました。

- ・札幌セミナー（7月6日～7日：かでる2・7）
- ・岡山セミナー（7月6日～7日：きらめきプラザ）
- ・秋田セミナー（7月13日～14日：あきた芸術村）にて実施。



セミナーの様子

○セミナーの後半予定です。

- ・11月2日（土）～3日（日） 東海北陸ブロック 三重県 じばさん（四日市）
- ・11月8日（金）～9日（土） 関東甲信越ブロック 東京都 福祉財団ビル（豊島区）
- ・11月23日（土）～24日（日） 近畿ブロック 和歌山県 アバローム紀の国（和歌山市）
- ・11月30日（土）～12月1日（日）九州ブロック 長崎県 ミライ on 図書館（大村市）

### 事務局より

○第48回日本肢体不自由教育研究大会

令和6年8月9日（金） 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

○第67回全肢P連・校長会合同研究大会

令和6年8月19日（月）～20日（火）

石川県立いしかわ特別支援学校（石川県金沢市）